

# いみずのに拓く

創刊号

【2007.3.26】

## 『皆さんと一緒に考えていきたいと思います』

射水市男女共同参画推進委員会代表 瀬山和子

男女共同参画社会とはどんな社会？よく質問を受けます。私の答えはたった一言「おもいやり」。男女共同参画社会の実現は、明るい未来を切り拓くキーワードになると思います。

「男らしく」「女らしく」とか「女だから」「男だから」などのように、これまでの固定的な男女の役割にとらわれないで、男女が社会で対等に「自分らしく」生きるために、家庭や地域、職場など、社会のあらゆる場面で「おもいやり」を持って共に考え、行動し、共に責任を担うことです。

男女共同参画推進員射水市連絡会が発足して1年を終えました。私たち推進員は、

- 家庭や地域・職場で誰もが「自分らしく」生きることのできる社会を
- 男女が共に協力し、生きていける社会を  
[子どもを安心して生み、育てられる環境づくりへつながっています]
- 誰もが同じように社会参加できる「男女共同参画社会」づくりを  
[少子化の改善のために役立つことがあるのではないのでしょうか]

これらを推進し、時代を担う子ども達のために活力ある社会をつくるため皆さんと一緒に考えていきたいと思います。



## 創刊を祝して

射水市長 分家 静 男

このたび、広報紙「いみずのに拓く」を創刊されますことに、心からお喜びを申し上げます。

射水市男女共同参画推進員の皆様には、日ごろから射水市における男女共同参画施策の推進に率先して取り組んでいただき、厚く感謝を申し上げます。

この広報紙を通じ、広く市民の皆様の日ごろの活動内容などを紹介されますことは、男女共同参画意識の醸成を図る上でも大変有意義であると思っております。

今後も推進員の皆様には、「射水市男女共同参画推進条例」の理念に基づき、男女がお互いを認め合い、責任を分かち合い、それぞれの個性と能力を発揮できる社会の実現に向け、男女共同参画社会の新たな地平を切り拓かれ、これを機に皆様の活動がさらに充実されることをご期待申し上げるものであります。

終わりに、推進員の皆様の今後ますますのご活躍とこの広報紙が皆様に末永く親しまれ愛されるものとなりますことを祈念申し上げ、創刊に当たってのごあいさつといたします。

# 新しい条例ができました。

平成19年4月1日施行

射水市男女共同参画推進委員会(平成19年4月1日より組織名称変更)では、男女共同参画に関する条例素案の検討に「市民ワーキング会議」委員として参画しました。

射水市男女共同参画推進条例は、平成18年12月市議会定例会で承認され、平成19年4月1日から施行されます。

私たち、射水市男女共同参画推進委員会も行政と協働で条例の普及・啓発を図ります。

## 射水市男女共同参画推進条例

～男女が互いの人権を尊重し、一人ひとりが個性豊かでいきいきと暮らす  
活気と輝きに満ちた男女共同参画社会の実現を目指して～

### <条例の仕組み>

#### <基本理念>

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1 男女の人権の尊重           | 4 家庭生活における活動と他の活動の両立 |
| 2 社会における制度や慣行についての配慮 | 5 男女の生涯にわたる健康の確保     |
| 3 政策等の立案及び決定への共同参画   | 6 国際社会との協調           |

#### <責 務>

市

市民

事業者等

- ◇総合的な施策の策定と実施
- ◇市民、事業者等との連携
- ◇必要な体制の整備

- ◇あらゆる分野への積極的な参画
- ◇市の施策の理解と協力

- ◇男女共同参画の体制整備
- ◇市の施策の理解と協力

#### <主な項目>

- |               |              |
|---------------|--------------|
| ◇男女共同参画計画の策定  | ◇報告(施策の実施状況) |
| ◇理解を深めるための措置  | ◇調査研究        |
| ◇自主的な推進活動の支援  | ◇苦情及び相談への対応  |
| ◇男女共同参画推進員の支援 | ◇拠点施設の設置     |

#### <男女共同参画の推進の阻害要因となる行為の禁止>

- ◇性別による権利侵害の禁止
- ◇公衆に情報を発信する場合の配慮

#### 男女共同参画審議会

男女共同参画の推進に関する必要な事項について調査・審議

## 男女共同参画社会の実現

□男女共同参画とは…男女が、社会の対等な構成員(パートナー)として、自らの意思によって社会のあらゆる分野の活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うことをいいます。

□参画とは…単に参加するだけでなく、より積極的に意思決定過程(企画・立案・決定)に加わるという意味が込められています。

# 活動報告

## 凧まつりに参加



射水市推進員の初の参画啓発活動として、凧まつりに参加した。熱気盛り上がる会場で啓発ティッシュを配り、参画活動を理解してもらった。

私たちの凧が風に乗るよう力を合わせ、これからの活動を誓い合った。

## 男性料理教室

男性の「魚のさばき方」や「かぶら寿し」では、魚の三枚おろし、骨に身が多くつかないように、皮が途中で切れないように皆さん真剣な面持ちで包丁さばきの腕前を競っていました。

料理教室だけでなく、家事全般や子育てなどいろいろな分野で男女共同参画を考えるきっかけづくりになればいいですね。



## 大江苑に慰問

「ちょっとの勇氣」をふりしぼり、特別養護老人ホーム大江苑の慰問に参加しました。みんなで民謡、民謡を披露し、入苑者には終始にこやかに手拍子や拍手で喜んでいただきました。私自身慰問したことに大きな喜びを感じました。大江苑は小さな社会。一人ひとりがみんな大切な家族。私はそんな中で今日はみんなのお母さん。

家庭の中から小さな一歩を踏み出して、親も子も、男も女も互いに向き合い認め合いながら未来に向かって、夢発信!



## 射水市民国際交流フェスティバルに参加

新湊公民館で開催された射水市民国際交流フェスティバルでは、バリ島のダンスやブラジルのサンバ演奏など国際色豊かに行われる中、私達推進員は、朗読劇で参加しました。終わったあと、富山市から来たという若い娘さん方に「節子さんだ!」(役名)と声を掛けられ話が弾みました。これからも機会があれば、この朗読劇を通じて男女共同参画社会を広げていきたいと思っています。



## 日本女性会議に出席して

海峡風が吹くさわやかな街、下関市で平成18年10月6日、7日に開催されました。全国から4千人もの人が参加したので、開会式は「海峡メッセ」と「市民会館」の二元中継で行われました。

開会セレモニーのあと、板東久美子内閣府男女共同参画局長から第2次基本計画の説明があり、マスコミで有名な白石真澄東洋大学教授からは、男女雇用機会均等法の第1期生時代に、仕事と子育てをした苦労話をテンポよく話されました。

2日目は土井たか子さんの分科会にでましたが、映画「ベアテの贈り物」が上映され、ベアテさんは憲法第14条、24条を起草した人で、戦後の女性の地位向上運動はこの条項から始まり、国籍法、男女雇用機会均等法、男女共同参画社会基本法へと発展しました。土井たか子さんは、「女性の権利は法律で与えられるものでなく、闘って勝ち取るものです。それには多くの支援者があってこそ」と話されました。2008年は富山県で開催されると報告がありました。



# 射水市男女共同参画 推進フォーラム

～パートナーシップのまちづくり～

2006.11.5



「男女共同参画に関する条例」の制定に向け市民に理解を深めてもらうためにフォーラムが小杉文化ホールで開かれ、男女のパートナーシップとまちづくりについて考えた。朗読劇「感じて、気づいて、地域がかわる」で幕を開け、森幸恵（プラチナコンシェルジュ代表取締役）さんによる講演や「家庭・地域・職場におけるパートナーシップ」をテーマにパネルディスカッションが行われ、男女が個性と能力を発揮できる社会づくりについて意見交換した。

## 射水市男女共同参画推進員名簿

(平成18・19年度)

校区名	氏名		校区名	氏名		校区名	氏名	
新 湊	放生津	姫野美和子	新 湊	東明	赤井弘人	小 杉	金山	山口久美子
	放生津	江尻昭		東明	石川明子		黒河	高浪芳久
	新湊	鷗川美子		東明	酒造力		二口	佐伯日登美
	新湊	金子堅太郎	小 杉	東明	矢野順子	大 門	櫛田	山崎京子
	新湊	海老江眸		三ヶ	戸破雪子		大門(二口)	前手政幸
	中伏木	加藤英男		戸破	森田ひとみ		水戸田	若崎和子
	塚原	勝山唯二		橋下条	堤谷豊吉		浅井	帯刀敏子
	塚原	新谷洋子		金山	稲垣節子		櫛田	平野好男
	作道	宮谷ひさ子		大江	笹川みち子		大島	堀田信雅
	作道	石黒明康		黒河	星井光	大島	田守立子	
	片口	阿實美智子		池多	岩井淑子	大島	宮野里香	
	片口	高嶋泰弘		太閤山	竹内茂	下	宮崎昭子	
堀岡	瀬山和子	中太閤山		伏木勲	下	田中秋代		
堀岡	竹林龍太郎	南太閤山		秋元國男				

※平成19年度、新湊地区で金子堅太郎氏から長慶武雄氏に委員交替がありました。



### 編集後記

私たち推進員の活動も1年が過ぎ、ようやく広報「いみずのに拓く」創刊号の発刊を迎えることができました。

野に山に海に男女共同参画意識の向上を図るという思いをこめて、「いみずのに拓く」と名づけました。

この広報紙が皆様に末永く親しまれ、愛されるよう、ぜひご一読いただき、男女共同参画についてご理解を深めていただければ幸いです。

〔広報委員〕 秋元國男 山崎京子

※平成19年4月1日より事務局は市民協働課男女共同推進班に名称変更しています。

発行／射水市男女共同参画推進委員会  
事務局／射水市男女平等社会推進班内〔射水市戸破1511番地〕